

経営比較分析表（平成29年度決算）

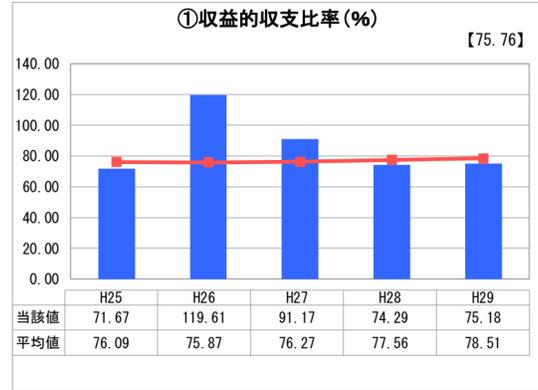
鳥取県 日南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	72.39	3,170	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
4,746	340.96	13.92
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
3,398	20.73	163.92

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



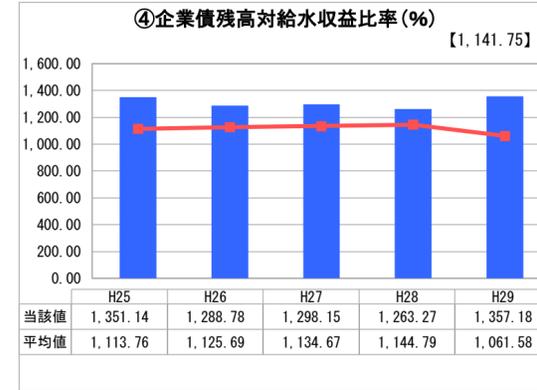
「単年度の収支」



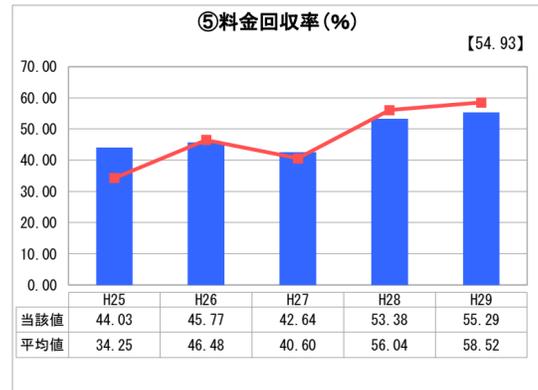
「累積欠損」



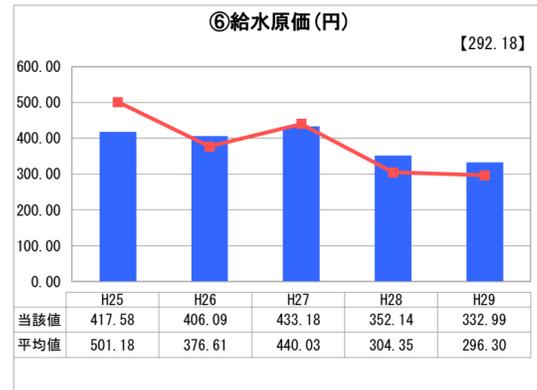
「支払能力」



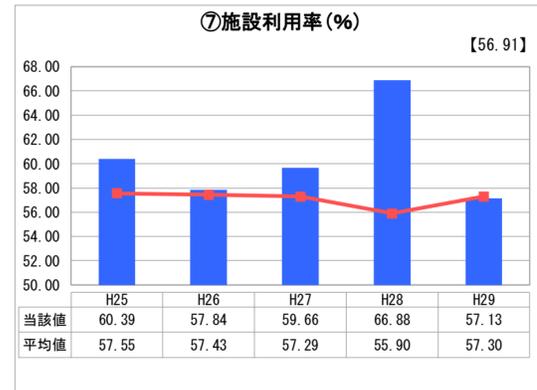
「債務残高」



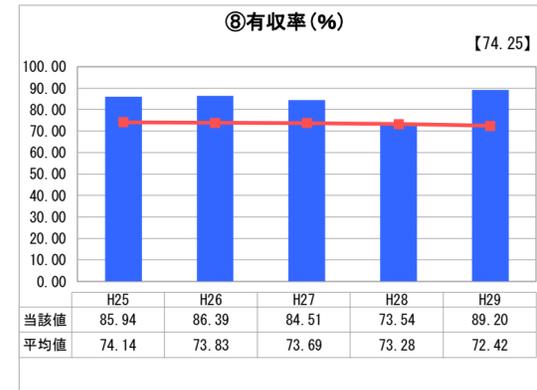
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

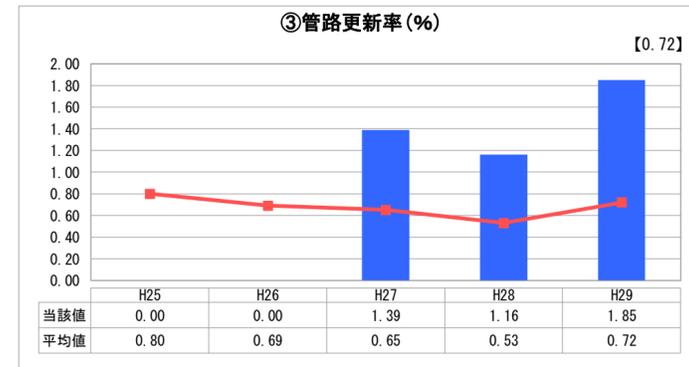
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は、歳出の抑制や地方債償還の減少により僅かに上昇している。今後は、料金改定や管理費の抑制により安定した水準を維持していく。企業債残高対給水収益比率は、施設整備事業の実施により上昇に転じている。設備更新に必要な投資計画を作成し、計画的な償還管理に努める。料金回収率は、低い水準が続いていることから、給水収益が増加するよう、料金改定や管理費の精査に努める。給水原価は、総費用の減少により低下している。今後も、維持管理費の削減に努めるなど原価の減少に努める。施設利用率は、配水量の減少により低下している。(H28は冬季の漏水による影響)設備更新において、省力化の導入を検討する。有収率は、漏水の改善などにより総配水量が減少したため上昇している。今後も高い水準になるよう維持管理していく。

2. 老朽化の状況について

大規模な管路・施設更新整備が平成30年度迄に完了する計画である。今後も計画的に設備の改修、更新を行う地区があるため、財源の確保や設備の効率的な使用について検討を行う必要がある。

全体総括

地方債の償還が減少し、緩やかに経営が改善してきている。今後も施設更新の投資や施設管理の委託が計画されているため、維持管理費の精査、料金改定による収益の見直し等、財源の確保に努めながら経営改善に取り組む必要がある。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。